

## 50周年、一層飛躍誓う

日本地下水開発(山形)の祝賀会



桂木宣均社長（右）ら関係者が鏡開きを行い、50周年の節目を祝った＝山形市・パレスグランデール

日本地下水開発（山形市、桂木宣均社長）の創立50周年記念祝賀会が1日、山形市のパレスグランデールで開かれ、節目を祝うとともに一層の飛躍を誓い合った。

協力業者や社員など関係者約250人が出席した。

桂木社長が「この節目における三つのキーワードは過去への感謝、現在の努力、未来への責任。長年、愛してもらっているお客さまやOB、すべての従業員に感謝するとともに、社員一人一人が日々努力していくことを確認し、地域、日本、世界のオンリーワン企業を目指して成長し続けたい」とあいさつ。病気療養中の桂木公平会長もあいさつに

立ち「次の50年を目指し、みんなの力を合わせて頑張っていく」と述べた。

遠藤利明衆院議員、協力会「環会」会長の会田忠男東北企業会長が祝辞。鏡開きに続き全員で乾杯し、節目を祝った。

同社は1962（昭和37）年3月に山形市で創業。井戸掘削技術を活用した散水消雪事業や温泉掘削の他、地質調査や地滑り対策など幅広く事業を展開。また、無散水消雪システムの分野で国内屈指の地位を確立した。さらに近年は、地下水熱や地中熱を利用した冷暖房システムの開発などにも力を入れており、環境保全・再生可能エネルギー分野で注目を集めている。